

日本高等教育学会第11回大会  
プログラム



2008

平成20年5月24日(土)・25日(日)

東 北 大 学

## ごあいさつ

沖縄では桜が散り、北海道では日陰に積もった雪がわずかに名残をとどめるようになった4月に、青葉の芽吹きがはじまった仙台から、日本高等教育学会第11回大会のご挨拶とご案内を申し上げます。

学会の大会が東北地域で開かれるのはこれが初めてです。高等教育研究は、伝統的に西高東低の気圧配置のもとにあり、これまで東京以北では北海道大学で開かれたのみでした。

しかし、東北の大学には、個性的な大学作りの連綿たる伝統があります。冷害にあえぐ北の地に農学を通じてイーハトーブを夢見た宮沢賢治の志に連なる岩手大学、はじめて帝国大学に女子を正規入学させ、門戸開放をうたう東北大学、アカデミズムに包摂された教員養成教育へのアンチテーゼを70年代に打ち出した宮城教育大学、秋田の地ですべての授業を英語で行い、国際人の養成を目指す国際教養大学など、数多くの取り組みは、現在まで引き継がれています。高等教育研究も、多くの大学に作られつつある大学教育研究センターを母体に、地域FDネットワークや海外大学での研修など、実践的取り組みが進められています。

今回の大会では、東北各大学の取り組みに支えられた研究成果すべてをお伝えすることはできませんが、全国の研究成果が集い、激動する高等教育を切り開く新たな理論の形成につながる大会になるよう、仙台在住の会員を中心に準備しております。幸いなことに例年をはるかに上回る90本以上の自由研究発表申し込みがあります。シンポジウム、2つの課題研究は、いずれも当代一流の報告者をそろえ、開催準備を進めております。

5月の仙台は、梅雨前で緑も鮮やかで、心身ともにリフレッシュする快適な季節です。一同、皆様をお待ちしています。

日本高等教育学会 第11回大会準備委員会 委員長	荒井 克弘
同 大会準備委員会 事務局長	羽田 貴史

# 大会日程

5月23日(金)

18:00 ~ 20:00 理事会 (マルチメディア教育研究棟6階大ホール)

5月24日(土)

9:15 ~ 受付 (A-B棟間ピロティ)

10:00 ~ 12:00 自由研究発表Ⅰ

12:00 ~ 13:00 課題研究打ち合わせ (A301)

13:00 ~ 15:00 自由研究発表Ⅱ

15:20 ~ 17:50 課題研究Ⅰ・Ⅱ

Ⅰ「高等職業教育の体系化と専門学校」 (B102)

Ⅱ「大学教育の効果の検証：学生調査結果から」 (A103)

18:10 ~ 20:00 懇親会 (厚生会館)

5月25日(日)

9:15 ~ 受付 (A-B棟間ピロティ)

10:00 ~ 12:00 自由研究発表Ⅲ

12:00 ~ 13:00 シンポジスト打ち合わせ (A301)

13:00 ~ 13:30 総会 (A200)

13:40 ~ 16:40 公開シンポジウム (A200)

テーマ 「大学“市場化”の展開—市場・大学・制度—」

## 大会参加のご案内

### 参加費

#### 【大会参加費】

正会員・臨時会員 5,000 円  
学生会員 4,000 円（学生証の提示をお願いします）

#### 【懇親会費】 4,000 円

- ※事前振込は行いません。当日、受付にてお支払い下さい。
- ※ 会員でない方も臨時会員として参加できます。
- ※ シンポジウムは無料で一般に公開します。

### 学会年会費

大会会場では、学会年会費の納入はできませんのでご了承下さい。

### 入場

会場及び懇親会会場への入場は、必ずネームプレートをつけて下さい。原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートはお帰りの際に受付にお返し下さい。

### 呼び出し

会場での呼び出しは行いませんのでご了承下さい。

### 欠席の場合

発表者が欠席する場合は、わかり次第、できるだけ早く大会準備委員会にE-mailまたはFAXにてお知らせ下さい。

### 資料のコピー

大会準備委員会によるコピーサービスは行いません。自由研究発表用の配付資料等は各自が必要な部数をご用意下さい。

### 昼食

24日（土）、25日（日）ともに厚生会館内の生協食堂が営業しています。会場周辺に食堂・レストランはほとんどありません。

### 会員控室

大会期間中はB棟談話室が会員控室になります。会員控え室にはお茶を用意しています。また、控室内に抜刷交換コーナー、書籍等の展示・販売コーナーも設置されています。ご利用下さい。

### クローク

ありません。貴重品は各自管理して下さい。

### 懇親会

24日（土）18:10～20:00に厚生会館内で懇親会を開催します。

### 喫煙場所

建物内は全面禁煙になっています。喫煙は屋外の決められた場所をお願いします。

## 発表者へのお願い

### ●発表および質疑応答時間

発表人数	発表時間	質疑応答時間
1人	15分	5分
2人	30分	10分
3人以上	40分	10分

※全ての発表について、以下の要領で司会者が目安をお知らせします。

- 【1鈴】発表終了5分前
- 【2鈴】発表終了時
- 【3鈴】質疑応答終了時

### ●発表用機械器具

当方では、DOS-V対応のプロジェクターならびに16ピンコネクター・ケーブル、パソコン（Windows XP相当）を用意します。こちらで準備するパソコンを利用される場合は、Windows Office98-2003形式（.ppt .doc）およびadobe acrobat(.pdf)、rich text format (.rtf)であれば、ほぼ確実に対応可能です。接続できるメディアは、電気の供給があまりいらぬUSB接続のものをご用意ください。それ以外の機器をご利用希望の場合には、御持参いただいた上で発表セッション開始前に動作確認をお願いいたします。なお、必ずしも対応できない場合もあることを予めご了承ください。

## 司会者へのお願い

### ●発表および質疑応答時間

予定時間を超過しないように時間管理をお願いします。

### ●総括討論

各セッションの最後に総括討論の時間を設けておりますが、利用できる時間はそれぞれの部会によって異なります。この時間の活用方法は司会者に一任しておりますので、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

# 大会会場までのアクセス

開催場所：東北大学 川内北キャンパス講義棟（A棟・B棟）

## 【仙台駅から川内キャンパスへのアクセス】



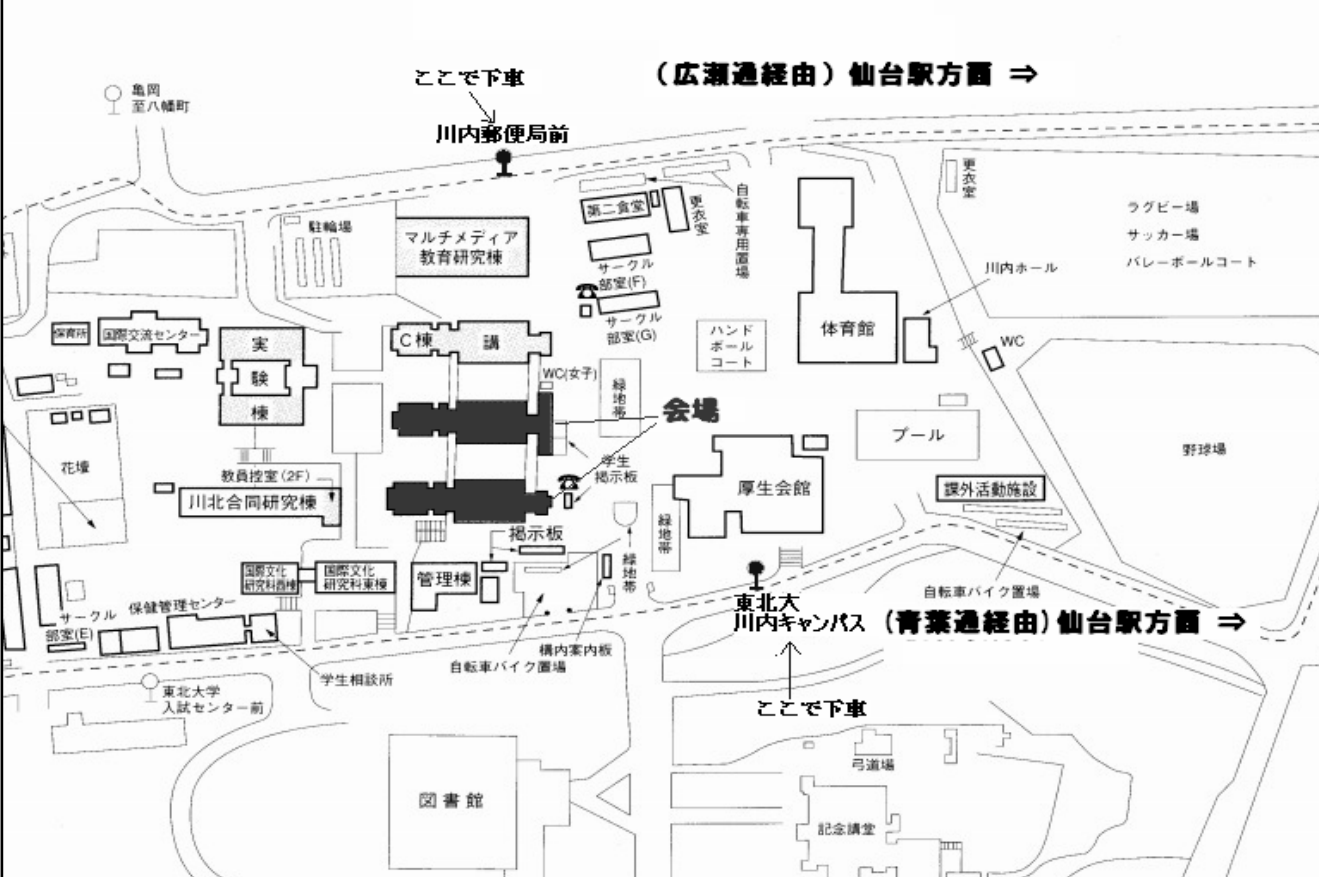
【仙台駅から川内キャンパスへの交通手段】

① 仙台市営バス

① 仙台駅西口バスプール 『9番』 乗り場  
「宮教大行（青葉通・工学部経由）」  
「青葉台行（青葉通・工学部経由）」  
「動物公園循環行（青葉通経由）」 のいずれかに乗車  
『東北大川内キャンパス』で下車（所要時間：15分程度，180円）  
☆ 1時間に約3本程度 <土日>

② 仙台駅西口バスプール 『16番』 乗り場  
「交通公園行（広瀬通経由）」に乗車  
『川内郵便局前』で下車（所要時間：15分程度，180円）  
☆ 1時間に約2本程度 <土日>

## 【川内キャンパス内の案内】



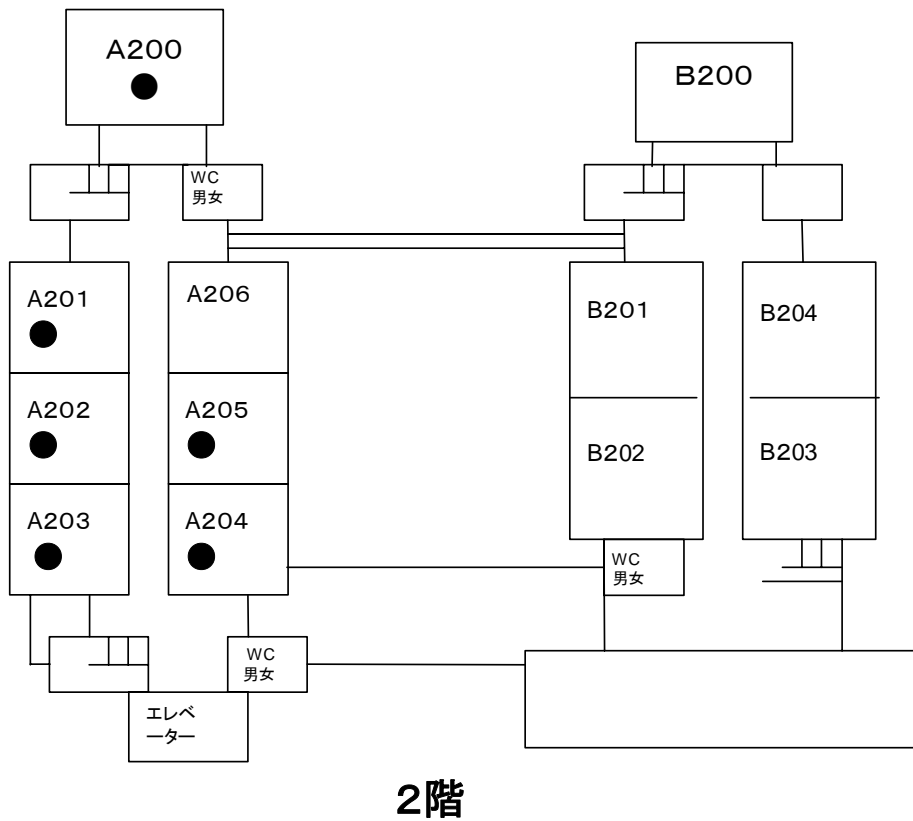
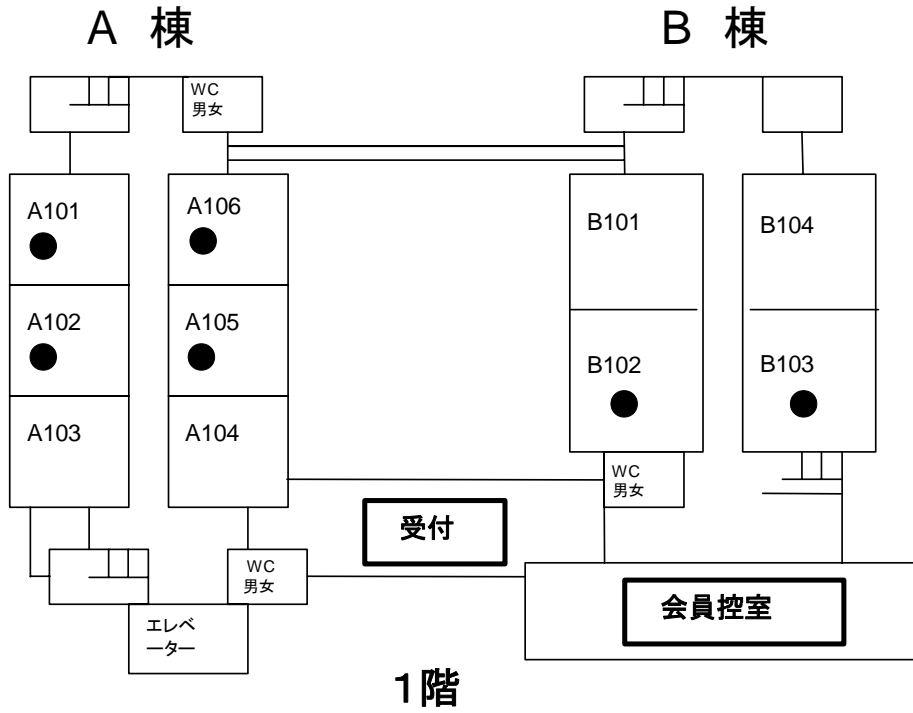
(広瀬通経由) 仙台駅方面 ⇒

ここで下車  
川内郵便局前

会場

ここで下車  
東北大 川内キャンパス (青葉通経由) 仙台駅方面 ⇒

# 大会会場案内図



# 大会会場一覧

5月24日(土)

	9:15～	
ピロティ(A-B棟間)	受付	
	10:00～12:00	自由研究発表 I
A101教室	I-1部会	教授法
A102教室	I-2部会	学士課程教育
A105教室	I-3部会	大学院
A106教室	I-4部会	質保証と高等教育 研究の新展開
A203教室	I-5部会	大学と職業1
A202教室	I-6部会	大学の経営1
A201教室	I-7部会	スタッフ・ディベ ロップメント
A205教室	I-8部会	大学と資金

13:00～15:00  
自由研究発表 II

A101教室	II-1部会	学生支援(学習)
A102教室	II-2部会	カリキュラム
A105教室	II-3部会	大学教授職1
A106教室	II-4部会	質保証
A203教室	II-5部会	大学と職業2
A202教室	II-6部会	大学の経営2
A201教室	II-7部会	ファカルティ・ディベ ロップメント1
A205教室	II-8部会	高等教育政策
A204教室	II-9部会	地域・産学連携

15:20～17:50  
課題研究

B102教室	課題研究 I	高等職業教育の体系 化と専門学校
B103教室	課題研究 II	大学教育の効果の検 証: 学生調査結果から

18:10～20:00  
懇親会

東北大学川内北キャンパス厚生会館

5月25日(日)

	9:15～	
ピロティ(A-B棟間)	受付	
	10:00～12:00	自由研究発表 III
A101教室	III-1部会	学生支援(経済)
A102教室	III-2部会	学生の多様化
A105教室	III-3部会	大学教授職2
A106教室	III-4部会	大学教育の評価
A203教室	III-5部会	アクセス
A202教室	III-6部会	大学の経営3
A201教室	III-7部会	ファカルティ・ディベ ロップメント2
A205教室	III-8部会	世界動向と大学

13:00～13:30  
総会

A200教室

13:40～16:40  
公開シンポジウム

A200教室 大学“市場化”の展開  
—市場・大学・制度—



自由研究発表 I 5月24日(土) 10:00-12:00

I-1部会 A101

## 教授法

司会：小笠原正明（筑波大学） 小島佐恵子（北里大学）

10:00-10:20

1. イギリス高等教育におけるチュートリアル—オックスブリッジから市民大学への伝播と変容—  
○竹腰千絵（京都大学大学院）

10:20-10:40

2. Teaching Portfolio から新しい実践的リーダー像の構築—多様化する学習者の人材育成指標—  
○野口和枝（秋草学園短期大学）

10:40-11:00

3. 大学教育における IT 活用の方策  
○林 一夫（メディア教育開発センター）

11:00-11:20

4. 理工系人材養成のためのメンタリング・プログラムの成果と課題  
○渡辺かよ子（愛知淑徳大学）

11:20-12:00 総括討論

---

I-2部会 A102

## 学士課程教育

司会：川島啓二（国立教育政策研究所） 串本 剛（首都大学東京）

10:00-10:20

1. 大学教育の文化習得効果（5）—上越教育大学における在学時と卒業後の調査から—  
○大前敦巳（上越教育大学）

10:20-10:40

2. 東北大学の教育に対する卒業・修了生の評価—1・2年次教育を中心に—  
○猪股歳之（東北大学）

10:40-11:00

3. 大学時代の学習状況や活動内容と卒業後の能力との関連に関する実証分析  
—北海道大学における卒業生アンケート調査結果から—  
○亀野 淳（北海道大学）

11:00-11:40

4. 学士課程教育プロセスから見た東北大学全学教育の評価  
○倉元直樹（東北大学）、○北村勝朗（東北大学）

11:40-12:00 総括討論

自由研究発表 I 5月24日(土) 10:00-12:00

I-3部会 A105

## 大学院

司会：有本 章（比治山大学） 山内乾史（神戸大学）

10:00-10:20

1. 大学院におけるサステナビリティ学教育—茨城大学の挑戦—  
○大辻 永（茨城大学）

10:20-10:40

2. 大学院における研究指導の実践手法に関する考察—メルボルン大学研究指導ハンドブックの日本への適用可能性—  
○近田政博（名古屋大学）

10:40-11:00

3. 米国研究大学における大学院の組織的基盤—スクールは専門職学位と研究学位とをいかに運営するのか—  
○阿曾沼明裕（名古屋大学）

11:00-11:20

4. 女子大学院生をとりまく研究室文化—研究大学におけるインタビュー調査を通して—  
○石井美和（東北大学大学院）、橋本鉦市（東北大学）

11:20-11:40

5. 「通信制大学院」の現状と課題—学生実態調査の結果から—  
○鈴木克夫（桜美林大学）

11:40-12:00 総括討論

---

I-4部会 A106

## 質保証と高等教育研究の新展開

司会：舘 昭（桜美林大学） 渡邊あや（熊本大学）

10:00-10:20

1. eラーニング戦略のベンチマーキング—官僚制的質保証モデルへのアンチテーゼ—  
○大森不二雄（熊本大学）

10:20-10:40

2. ERIC データベースから見るアメリカの高等教育研究の動向  
○山崎慎一（桜美林大学大学院）

10:40-11:30

### 学会委託共同研究

3. 学生の大学卒業程度の学力を認定する仕組みに関する比較研究（1）—英・米・豪3カ国の事例を中心に—  
○濱名 篤（関西国際大学）、川嶋太津夫（神戸大学）、吉田 文（早稲田大学）、  
○山田礼子（同志社大学）、富田福代（関西国際大学）、○杉本和弘（大学評価・学位授与機構）、  
吉本圭一（九州大学）、○吉田武大（関西国際大学）、串本 剛（首都大学東京）

11:30-12:00 総括討論

自由研究発表 I 5月24日(土) 10:00-12:00

I-5部会 A203

## 大学と職業 1

司会：真鍋和博（北九州市立大学） 吉本圭一（九州大学）

10:00-10:20

1. 高度専門士の導入と展開・可能性について  
○藤川秀幸（九州大学大学院）

10:20-10:40

2. 専門学校卒業生のキャリアと専門学校教育  
○小方直幸（広島大学）

10:40-11:00

3. 大学外での経験、実践を重視する授業における知識伝達の特徴  
—A大学のインターンシップと地域活性化授業とを比較して—  
○二宮 祐（一橋大学）

11:00-11:20

4. 大学における奉仕・体験活動の単位認定にかかわる青少年教育施設との連携について  
—国立施設との連携を事例として—  
○天野智水（琉球大学）

11:20-12:00 総括討論

---

I-6部会 A202

## 大学の経営 1

司会：大川一毅（岩手大学） 奥居正樹（広島大学）

10:00-10:20

1. 豪州の大学における IR と教育改善に関する考察  
○鳥居朋子（鹿児島大学）

10:20-10:40

2. 大学マネジメントと自己評価—PDCAサイクルの視点から—  
○西出順郎（琉球大学）

10:40-11:30

3. 大学経営支援のための IR と情報—九州大学大学評価情報室の取組から—  
○小湊卓夫（九州大学）、○高田英一（九州大学）、○佐藤 仁（九州大学）

11:30-12:00 総括討論

自由研究発表 I 5月24日(土) 10:00-12:00

I-7部会 A201

## スタッフ・ディベロップメント

司会：加藤かおり（新潟大学） 夏目達也（名古屋大学）

10:00-10:20

1. 大学図書館職員の教育研究支援能力とその規定要因—アンケート調査による育成政策の立案—  
○梅澤貴典（中央大学図書館）

10:20-10:40

2. 大学職員のモチベーションとその規定要因—「大学職員の仕事観に関する意識調査」の結果から—  
○篠田雅人（学習院大学）

10:40-11:00

3. アメリカにおける高等教育プログラムの学位と教育内容—大学管理職養成と高等教育研究者養成の観点から—  
○高野篤子（秋田大学）

11:00-11:20

4. 学生の学習や発達の支援を目指したSD教材の評価  
○中井俊樹（名古屋大学）、齋藤芳子（名古屋大学）

11:20-12:00 総括討論

---

I-8部会 A205

## 大学と資金

司会：加藤雄次（日本開発構想研究所） 水田健輔（国立大学財務・経営センター）

10:00-10:20

1. 米国私立大学の債券発行金額と債券  
○田中立子（学校法人青山学院）

10:20-10:40

2. 競争的資金下における教育プロジェクトの継続性と制度化について：その検証と分析の手法—  
—全米科学財団・高度技術教育計画の事例から—  
○松塚ゆかり（一橋大学）

10:40-11:00

3. 高等教育の大拡大期における私立大学の金融取引の展開—私立学校振興会・日本私学振興財団融資に着目して—  
○川崎成一（東京大学大学院）

11:00-11:20

4. 大拡張期における中国高等教育機関の銀行融資に関する実証分析  
○鮑 威（北京大学）

11:20-11:40

5. 中国における高等教育機関の科研費配分に関する実証研究  
○劉 文君（東京大学大学院）

11:40-12:00 総括討論

自由研究発表Ⅱ 5月24日(土) 13:00-15:00

Ⅱ-1部会 A101

## 学生支援(学習)

司会: 近田政博(名古屋大学) 山田礼子(同志社大学)

13:00-13:20

1. 学生の生活時間の分析

○谷村英洋(東京大学大学院)

13:20-13:40

2. 大学教育への適応の変化とその意味—大学新入生の適応と“移行”に関する個人追跡データを用いた分析(4)—

○小島佐恵子(北里大学)、濱名 篤(関西国際大学)、川嶋太津夫(神戸大学)、白川優治(千葉大学)

13:40-14:30

3. 大学生の学習参加の構造

金子元久(東京大学)、○浦田広朗(名城大学)、○大多和直樹(東京大学)、○両角亜希子(東京大学)

14:30-15:00 総括討論

---

Ⅱ-2部会 A102

## カリキュラム

司会者: 大前敦巳(上越教育大学) 沖 清豪(早稲田大学)

13:00-13:20

1. 日本の大学における教員養成改革と学士課程教育について

○加澤恒雄(広島工業大学)

13:20-13:40

2. 学士課程における理系専門分野別コアカリキュラムの構築に向けて—化学を例として—

○西山宣昭(金沢大学)

13:40-14:00

3. ハーバードのカリキュラム改革

○深野政之(桜美林大学大学院)

14:00-14:20

4. 授業時間外学習の効用—単位の実質化論①—

○串本 剛(首都大学東京)

14:20-15:00 総括討論

自由研究発表Ⅱ 5月24日(土) 13:00-15:00

Ⅱ-3部会 A105

## 大学教授職1

司会：阿曾沼明裕(名古屋大学) 加藤 毅(筑波大学)

13:00-13:20

1. アメリカ大学教員のサラリー研究(3)  
○相原総一郎(大阪薫英女子短期大学)

13:20-13:40

2. ドイツでの教授招聘方式の改革—大学自治「復活」の意義—  
○潮木守一(桜美林大学)

13:40-14:30

3. 大学教授職の変容に関する研究—国際比較の観点から—  
○有本 章(比治山大学)、江原武一(立命館大学)、○山野井敦徳(くらしき作陽大学)、  
○大膳 司(広島大学)、藤村正司(新潟大学)、浦田広朗(名城大学)、○黄 福涛(広島大学)、  
小方直幸(広島大学)、村澤昌崇(広島大学)

14:30-15:00 総括討論

---

Ⅱ-4部会 A106

## 質保証

司会：齊藤貴浩(大学評価・学位授与機構) 前田早苗(千葉大学)

13:00-13:20

1. 高等教育機関の認証評価機関選択に関する研究  
○高森智嗣(広島大学大学院)

13:20-13:40

2. 欧州高等教育質保証機関登録制度(EQAR)の構造とその動向  
○大佐古紀雄(育英短期大学)

13:40-14:30

3. 大学運営、大学評価への学生参画システム検証—デンマーク、スウェーデン、フィンランドの事例—  
○堀井祐介(金沢大学)、○渡邊あや(熊本大学)、○上倉あゆ子(大阪大学非常勤)

14:30-15:00 総括討論

自由研究発表Ⅱ 5月24日(土) 13:00-15:00

Ⅱ-5部会 A203

## 大学と職業2

司会：小方直幸（広島大学） 濱中義隆（大学評価・学位授与機構）

13:00-13:20

1. 企業におけるコミュニケーション能力ニーズと大学教育  
○真鍋和博（北九州市立大学）

13:20-13:40

2. 医療系専門職教育の質的保証—国際化する高等教育市場の視点から—  
○稲葉めぐみ（東京大学大学院）

13:40-14:30

3. 公共政策大学院の現状と質保証のあり方に関する研究  
○早田幸政（金沢大学）、○渡辺達雄（金沢大学）、○田村 瞳（龍谷大学）

14:30-15:00 総括討論

---

Ⅱ-6部会 A202

## 大学の経営2

司会：小湊卓夫（九州大学） 杉本和弘（大学評価・学位授与機構）

13:00-13:20

1. フォーミュラを活用するドイツ州立大学の予算配分  
○金子 勉（京都大学）

13:20-13:40

2. 国立大学法人の活動効率性評価に関する実証分析  
○中島英博（三重大学）

13:40-14:00

3. 大学の環境適応と財務戦略—国立大学法人の場合—  
○山本 清（国立大学財務・経営センター/東京大学）

14:00-14:20

4. 国立大学法人の中期目標・計画の問題点と課題  
○田中敬文（東京学芸大学）、羽田貴史（東北大学）、光田好孝（東京大学）

14:20-15:00 総括討論

自由研究発表Ⅱ 5月24日(土) 13:00-15:00

Ⅱ-7部会 A201

## ファカルティ・ディベロップメント1

司会：池田輝政(名城大学) 吉永契一郎(東京農工大学)

13:00-13:20

1. 教員調査からみたFD活動の現状と課題

有本 章(比治山大学)、○長谷川祐介(比治山大学)、山野井敦徳(くらしき作陽大学)、村澤昌崇(広島大学)

13:20-13:40

2. 大学設置基準における「授業の内容及び方法の改善」が意味するもの

○青野 透(金沢大学)

13:40-14:30

3. FD(教員職能開発)ネットワーク化の動向と課題

○羽田貴史(東北大学)、米澤彰純(東北大学)、○中島(渡利)夏子(東北大学大学院)、

○夏目達也(名古屋大学)、○加藤かおり(新潟大学)

14:30-15:00 総括討論

---

Ⅱ-8部会 A205

## 高等教育政策

司会：塚原修一(国立教育政策研究所) 鮑 威(中国北京大学教育学院)

13:00-13:20

1. 戦後日本高等教育システムの拡大とそのインパクト再考—SSM2005による高等教育類型別分析の試み—

○米澤彰純(東北大学)

13:20-13:40

2. 大学等設置認可審査制度に関する一考察—設置審査の準則化時期を中心として—

○加藤雄次(日本開発構想研究所)

13:40-14:00

3. 地方公立大学の優位性に関する研究

○永野拓矢(岩手大学)

14:00-14:20

4. 高等教育支出規模のマクロ分析—GDP要素別比率の日米比較—

○水田健輔(国立大学財務・経営センター)

14:20-15:00 総括討論



自由研究発表Ⅱ 5月24日(土) 13:00-15:00

Ⅱ-9部会 A204

## 地域・産学連携

司会：稲永由紀（筑波大学） 藤村正司（新潟大学）

**13:00-13:20**

1. 産学連携活動と特許出願（第二報）  
○柴山盛生（国立情報学研究所）

**13:20-13:40**

2. 公立大学の地域貢献・技術移転機能と地域科学技術のガバナンスの課題  
—農業実務者養成教育と農業改良普及事業の日米体制比較を例として—  
○白川展之（県立広島大学）、白川志保（広島大学）

**13:40-14:00**

3. 自治体・大学連携の進展と自治体の高等教育関与の展望  
○菊池芳明（横浜市立大学）

**14:00-14:40**

4. 大学の三つの使命を推進する地域との有機的連携  
—東北大学経済学研究科地域イノベーション研究センターの事例より—  
○西出優子（東北大学）、○福嶋 路（東北大学）

**14:40-15:00** 総括討論

自由研究発表Ⅲ 5月25日(日) 10:00-12:00

Ⅲ-1部会 A101

## 学生支援(経済)

司会: 濱名 篤(関西国際大学) 両角亜希子(東京大学)

10:00-10:20

1. 地方自治体による奨学金事業の現状と課題  
○白川優治(千葉大学)

10:20-10:40

2. 予約奨学金に採用されるのは誰か?  
○朴澤泰男(日本学術振興会特別研究員)

10:40-11:00

3. 中国における学資貸付の制度化過程と実施状況  
○王 傑(お茶の水女子大学)

11:00-11:40

4. 授業料・奨学金の日中韓比較  
○小林雅之(東京大学)、○濱中義隆(大学評価・学位授与機構)

11:40-12:00 総括討論

---

Ⅲ-2部会 A102

## 学生の多様化

司会: 亀野 淳(北海道大学) 加澤恒雄(広島工業大学)

10:00-10:20

1. 社会政策的観点から見た非選抜型大学問題  
○居神 浩(神戸国際大学)

10:20-10:40

2. 非選抜型大学の学生の授業観—強選抜型大学・弱選抜型大学との比較を通じて—  
○三宅義和(神戸国際大学)

10:40-11:00

3. 非選抜型大学の存在意義への問い—「マージナル大学」の存続を正当化する論は可能か—  
○遠藤竜馬(神戸国際大学)

11:00-11:40

4. 初年次教育の展開と課題—全学部調査(2007)の結果から—  
塚原修一(国立教育政策研究所)、○川島啓二(国立教育政策研究所)、  
加藤崇英(国立教育政策研究所)、山田礼子(同志社大学)、○沖 清豪(早稲田大学)、  
森 利枝(大学評価・学位授与機構)、杉谷祐美子(青山学院大学)

11:40-12:00 総括討論

自由研究発表Ⅲ 5月25日(日) 10:00-12:00

Ⅲ-3部会 A105

## 大学教授職2

司会：江原武一（立命館大学） 鈴木克夫（桜美林大学）

10:00-10:40

1. 国立大学における教員個人評価の進捗状況と今後の課題  
—「教員個人評価の反映」をめぐるアンケート調査結果をふまえながら—  
○奥居正樹（広島大学）、○大川一毅（岩手大学）

10:40-11:00

2. 女性研究者支援モデルの比較検討とその有効性について  
○登谷美穂子（京都大学）

11:00-11:40

3. 教養教育の海外調査（その2）—オーストラリアの高等教育政策—  
○米谷 淳（神戸大学）、○山内乾史（神戸大学）、杉本和弘（大学評価・学位授与機構）

11:40-12:00 総括討論

---

Ⅲ-4部会 A106

## 大学教育の評価

司会：大佐古紀雄（育英短期大学） 川嶋太津夫（神戸大学）

10:00-10:20

1. 授業評価からみえる学生気質  
○橋本健夫（長崎大学）、林 朋美（長崎大学）

10:20-10:40

2. 医療系高等教育における成績評価の厳格化への取り組み  
○富田美加（茨城県立医療大学）、水上昌文（茨城県立医療大学）、小山哲夫（茨城県立医療大学）

10:40-11:00

3. 大学の満足度に影響する要因の分析—台湾の大学三年生を分析対象として—  
○黄 文哲（東京大学大学院）

11:00-11:40

4. アウトカムアセスメントの社会的背景と可能性—アメリカとオーストラリアの事例から—  
金子元久（東京大学）、○山岸直司（東京大学大学院）、○戸村 理（東京大学大学院）

11:40-12:00 総括討論

自由研究発表Ⅲ 5月25日(日) 10:00-12:00

Ⅲ-5部会 A203

## アクセス

司会：秋永雄一（東北大学） 木村拓也（長崎大学）

10:00-10:20

1. 高等教育機関間の学生の移動  
○立石慎治（広島大学大学院）

10:20-10:40

2. 誰が短期高等教育機関に進学するのか—全国高校生調査から—  
○藤村正司（新潟大学）

10:40-11:00

3. 個別大学における入試関連手続きミスのパターンと影響度の検討—新聞記事を題材に—  
○西郡 大（東北大学大学院）

11:00-11:20

4. 新聞記事から見る大学入試のあり方  
○金 愛花（東京大学大学院）

11:20-12:00 総括討論

---

Ⅲ-6部会 A202

## 大学の経営3

司会：西出順郎（琉球大学） 山本 清（国立大学財務・経営センター/東京大学）

10:00-10:20

1. 高等教育機関における経営方針と経営手法の使用に関する分析  
○齊藤貴浩（大学評価・学位授与機構）

10:20-10:40

2. リアルオプションアプローチの私立大学経営への応用  
○小原一仁（玉川大学）

10:40-11:00

3. 国立大学法人化後の私立大学の経営意識に関する調査報告  
○高橋真義（桜美林大学）、鳥居 聖（桜美林大学）

11:00-11:20

4. 外国大学日本校の現状と将来展望—外国大学日本校の指定の後を受けて—  
○鳥井康熙（桜美林大学）

11:20-12:00 総括討論

自由研究発表Ⅲ 5月25日(日) 10:00-12:00

Ⅲ-7部会 A201

## ファカルティ・ディベロップメント2

司会：青野 透(金沢大学) 関内 隆(東北大学)

10:00-10:20

1. アカデミック・リーダーシップ成立の条件  
○吉永契一郎(東京農工大学)

10:20-11:00

2. コミュニティ・オブ・プラクティスを生かすFDマネジメントの方法論  
○神保啓子(名城大学)、○池田輝政(名城大学)

11:00-11:40

3. FDプログラムの体系化を目指したFDマップの開発  
○佐藤浩章(愛媛大学)、○長澤多代(長崎大学)、○稲永由紀(筑波大学)、  
○中島英博(三重大学)、○川島啓二(国立教育政策研究所)

11:40-12:00 総括討論

---

Ⅲ-8部会 A205

## 世界動向と大学

司会：大森不二雄(熊本大学) 山本眞一(広島大学)

10:00-10:20

1. 大学国際化指標の策定—日本と台湾の比較を中心に—  
○楊 武勳(台湾・CHI NAN 国際大学)

10:20-10:40

2. 大学の基本情報から読み解く大学の特質—世界の有力大学の分析を事例として—  
○船守美穂(東京大学)

10:40-11:20

3. 日本技術者教育認定と教育の国際化—早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科の事例—  
○長山道代(早稲田大学)、○吉本一穂(早稲田大学)

11:20-12:00 総括討論

## 高等職業教育の体系化と専門学校

司会	馬越 徹 (桜美林大学) 吉本圭一 (九州大学)
報告者	吉本圭一 (九州大学) 寺門成真 (文部科学省) 中込三郎 (全国専修学校各種学校総連合会)
ディスカッサント	天野郁夫 (東京大学名誉教授)

本課題研究では、高卒進学動向において大学セクターに次ぐ大きな比重を占めながら、しかしこれまでほとんど研究がされてこなかった専門学校セクターをとりあげ、高等教育体系の中での職業教育の位置づけを考えるための議論の場を設定したい。

1970年代以降の高等教育の拡大と並行して、世界的に非大学型高等教育の発展がみられた。日本の専門学校制度の発足・展開も、そうした世界的な高等教育多様化の流れの中に位置づけて検討することが可能なはずである。ところが、専門学校制度の急速な発展にもかかわらず、日本の高等教育研究の分野では、そうした非大学型高等教育をめぐる研究は、極めて例外的、周辺的な位置づけしかされてこなかった。制度発足直後の急速な専門学校進学拡大について研究関心が集まったが、それは、専門学校自体の独自の価値を探究するというよりも、むしろ多くは大学の「受け皿」としての機能を強調し、大都市圏における大学抑制政策を主題として論じるという方向性にとどまっていた。

それは、第1に、高等教育の規範的モデルとしての「大学」の外にある多様な教育機関・プログラムを「非大学」として総括して扱うことが困難なためである。しかし、今日専門学校をとりあげあえて「非大学」を論じることは、それを通して「非大学」ならざるものとしての「大学」を把握することができるという、戦略的な位置づけももちうる。特に、資格取得等の学士課程への導入など、いわゆる「大学の専門学校化」が進む中で、両者の本質的な差異と共通性を論じることは極めて興味深いテーマとなる。

第2に、「非大学」論の困難は、高等教育関係者の視線が、総じて、多元性を志向するのではなく、むしろ規範としての、また頂点としての「大学」に向かうからではないだろうか。これまでの、専門学校卒業資格を大学制度に調和させるという専門士・高度専門士への展開などは、いわゆる大学尺度への同化路線のようにも見える。しかし、他方では、大学とは異なる体系として、高等教育における職業教育を担うという志向性も語られている。

また第3に、人的にみても、専門学校関係者と大学・短大関係者との交流が限られており、高等教育における職業教育の体系の一端を担うべき専門学校研究が展開していなかったのではないだろうか。

そこで、本課題研究においては、第1報告として吉本圭一が、高等教育における職業教育の体系と専門学校の位置づけにかかる現状認識と検討課題を提示する。第2報告は、寺門成真(文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室・室長)が、文教政策推進の立場から、専門学校の制度概要と職業教育の今日的課題を報告する。第3報告として中込三郎(全国専修学校各種学校総連合会・会長)が、専修学校における教育の実態を踏まえて高等教育段階でのキャリア教育・職業教育を論じる。これらの報告を踏まえて、天野郁夫が、ディスカッサントとして、高等教育の政策科学的な観点から論点を提示し、その後フロアーを交えた議論を行いたい。

## 大学教育の効果の検証：学生調査結果から

司 会・

コメンテーター 丸山文裕 (国立大学財務・経営センター)

報告者

山田礼子 (同志社大学)

小方直幸 (広島大学)

矢野真和 (昭和女子大学)

2007年9月に中教審の大学分科会「制度・教育部会、学士課程教育の在り方に関する小委員会」による審議経過報告が公表され、そのなかで、単位の実質化、FDの推進等を始めとして、学士課程を終了する際の到達度の参考基準として「学士力」を身につけることが望ましいという報告がなされた。

こうした一連の動きを鑑みると、かつて指摘されてきた日本の高等教育機関あるいは教員の研究志向をより教育志向へと向かわせることが、近年の高等教育政策の重要課題の一つであるとみなせるのではないかと思われる。このような高等教育機関が教育を重視する政策を遂行していく過程においては、当然ながら大学教育の成果を検証することが求められよう。

近年の大学改革を通じて、初年次教育、キャリア教育、少人数制教育、実践的な教育プログラムの開発等様々な教育改善のための方策が取り入れられ、FDも推進されてきている。しかし、本当に大学の教育力は向上しているのだろうか。教育の受け手である学生は、現在の大学教育をどのように評価しているのだろうか。あるいは実際の教育の効果が学生の実質的な教育成果につながっているのだろうか。

上記のような問題意識をもとに、2008年度の課題研究では、「大学教育の効果の検証：学生調査結果から」という課題をたて、次のような視点から考察する。①学生の成長とそれを支える大学の環境を情緒的側面から分析する。②卒業生調査の結果を国際比較も踏まえながら検討することで、大学教育の職業的なレリバンスを特に認知面に注目して検討する。③大学での学習経験と現在の仕事(とくに所得)との関係に着目し、教育の成果を「行動の水準」から検討する。発表者はそれぞれが実施した学生調査および卒業生調査のデータを用いて、矢野氏の要旨にあるように、情緒面(Affective)での評価指標(満足度などの主観的評価)、行動面(Behavior)における評価指標、最後に知識を中心とする認知面(Cognitive)での評価指標という3次元から教育の成果・効果を測定・検証する。

## 大学“市場化”の展開—市場・大学・制度—

司 会	荒井克弘 (東北大学) 成定 薫 (広島大学)
報告者	原山優子 (東北大学) ゲーリー・ローズ (アリゾナ大学) 小林雅之 (東京大学)
討論者	潮木守一 (桜美林大学)
通 訳	森 利枝 (大学評価・学位授与機構) 米澤彰純 (東北大学)

日本の政策アリーナにおいて「大学の市場化」はキーワードとなり、大学改革の一つの道標として掲げられることすらある。それは世界的な大学ガバナンスのトレンドでもあり、各種の文献、政策資料に登場し、議論を賑わしているが、その定義は必ずしも明らかではない。専門的な文脈に遡って用語の意味を問い、その概念の他分野への適用を真摯に論じるという努力は、日本高等教育学会でもこれまで十分に行われてきたとは言えない。

大学の環境は近年急速に変化し、また社会の中における大学の位置づけも大幅に変化した。大学が他の社会セクターと連携し、高度化する知識基盤社会において積極的な役割を果たすことはもはや当然と考えられている。しかし、だからといって大学の市場化について共通理解が形成されているとは言い切れない。現在議論されている「市場化」が政府による大学統制の手段として意味を持つものなのか、それとも逆にそれから逸脱する自由を指向するものなのか、それすら定かではない。

市場化と大学制度との親和性はどこにあるのか。日本の「大学の市場化」と、アメリカの「大学の市場化」はどのように類似しどこが違っているのか。このシンポジウムを通じて新たな視野を提供したい。それは、この20年余に及ぶ、規制緩和から、評価、市場化へと続いた大学改革の流れをもう一度包括的に見直す良い機会ともなろう。「市場化」は大学改革を作動させるための道具立てにすぎないという見方もできるが、市場概念と大学の学問、教育の在りかたに関わる本質的な論争点は依然として克服されていないのである。

本シンポジウムでは、まず「市場」の原理に遡り、市場化論の類型を整理したうえで、「大学の“市場化”」の有効性と問題点に言及したい。そして、実際に日本やアメリカで展開されている「大学の市場化」とは具体的にどのようなものであるのか、その派生効果を含めて報告と議論を展開し、大学のこれからの考える基礎としたい。



# 日本高等教育学会第11回大会プログラム

発行日：2008年4月15日

発行者：日本高等教育学会第11回大会実行委員会

## 大会実行委員会

### 委員長

荒井 克弘（東北大学）

### 副委員長

秋永 雄一（東北大学）

### 委員

猪股 歳之（東北大学）

片瀬 一男（東北学院大学）

倉元 直樹（東北大学）

黄 梅英（尚絅学院大学）

佐藤 直由（東北文化学園大学）

関内 隆（東北大学）

西出 優子（東北大学）

橋本 鉦市（東北大学／東京大学）

羽田 貴史（東北大学）

原山 優子（東北大学）

米澤 彰純（東北大学）

### 事務局長

羽田 貴史（東北大学）

### 事務局

石井 美和（東北大学大学院）

猪股 歳之（東北大学）

京須 希実子（日本学術振興会特別研究員  
／東北大学大学院）

倉元 直樹（東北大学）

千葉 政典（東北大学）

當山 明華（東北大学大学院）

中島（渡利）夏子（東北大学大学院）

西郡 大（日本学術振興会特別研究員  
／東北大学大学院）

橋本 鉦市（東北大学／東京大学）

米澤 彰純（東北大学）

渡部 芳栄（広島大学）

## 日本高等教育学会 第11回大会実行委員会

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学高等教育開発推進センター内

E-mail : jaher2008@he.tohoku.ac.jp

URL : <http://www.she.he.tohoku.ac.jp/jaher2008/>

TEL : 022-795-4814（倉元研究室）

FAX : 022-795-4815（ " ）